



産官学連携で持続可能な地域交通を検証！

「次世代モビリティサービスを活用した社会実験」を実施します

■経緯と目的

墨田区は、令和3年4月27日に締結した、「次世代モビリティサービスに関する連携協定」(※)に基づき、オンデマンドバス運行の実証実験を開始します。本実証実験は、5月21日にSDGs未来都市の認定を受けた本区が、持続可能な地域交通を検証することを目的としています。

■本区を取り巻く環境

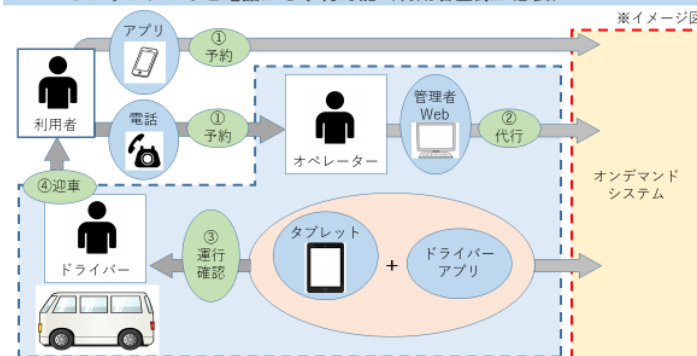
本区には鉄道やバスなどの交通網が張り巡らされ、区民の生活の足となっています。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による移動需要の減少、運転手人材の高齢化などが、交通業界全体の課題となっています。そのため、全国で、利用者のニーズに応じて運行するオンデマンド運行、自動運転技術の試行など、様々な取組が行われています。

■内容

そこで、区内の一部地域において、令和4年2月と3月の2か月間、新しいサービスの形態として、オンデマンドバスの実証運行を行うこととし、現在、運行事業者の公募を行っています【10月22日(金)17時締切】。本実証実験を通して、こうしたサービスに対しての区民の期待を把握するとともに、区内での移動について、どのような需要があるのかを把握し、今後の新しいモビリティサービスの検討につなげていきます。社会実験の詳細については、別紙のとおりです。

<予約方法>

スマートフォンアプリと電話から予約可能（利用者登録が必要）



■今後の展開

本実証実験を一つのモデルケースとし、来るべき未来に、安心して暮らせるまちを実現するために、これから墨田区では、社会課題を解決しようとする企業や区内にキャンパスがある大学とも連携しながら、必要に応じて、実証実験の場を提供し、ともに豊かな地域社会づくりに貢献していきます。

※「次世代モビリティサービスに関する連携協定」は、「新・産業コミュニティ形成のための社会実験に関する連携協定」を昨年度締結した(株)浜野製作所(墨田区八広四丁目39番7号)、及び同社から紹介のあったMONET Technologies(株)(千代田区丸の内三丁目3番1号 新東京ビル4階)の3者で、締結したものです。

【本件に関するお問い合わせ先】

墨田区 産業観光部観光課

Tel : 03-5608-6931 E-mail : kankou@city.sumida.lg.jp 担当 : 中武・羽片

＜次世代モビリティサービスを活用した社会実験＞

事業概要

- 実施エリア
八広・東墨田・立花 ※エリア外停車場所として押上駅前を予定
- 運行形態
道路運送法第21条許可に基づく運行（実証実験）
- 実証時期・期間
令和4年2月～3月（2か月間）
- 運行時間（乗車可能時間）
午前10時～午後6時30分
- 車種・台数
9人乗りワゴン車・2台
- 運賃
200円（子ども100円）
- 乗降場所
公共施設・公園・病院・診療所 等 約50か所を予定
- 予約受付方法
専用アプリ又は電話による受付